事務事業チェックシート

事務事業No	事業名
11301	**文化的風土の醸成事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	文化的風土の醸成事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	洲嵜　敬一郎	435-1194
事業実施の根拠法令		関連課	企画課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	本市の文化の振興	本市が輩出した著名な文化人を広く知らしめ、文化の発信と文化的風土の醸成を図る事業を実施。

	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
事業内容	・文化的風土の醸成イベントの実施 ・有吉佐和子氏の資料調査	・文化的風土の醸成イベントの実施 （新型コロナウイルス感染症の影響により中止） ・復元に向けた建築設計業務、復元地の整備 ・有吉佐和子氏の資料調査	・文化的風土の醸成イベントの実施 （新型コロナウイルス感染症の影響により中止） ・有吉佐和子邸の復元に向けた整備 ・有吉佐和子氏の資料調査	・有吉佐和子邸の復元に向けた建築工事 ・有吉佐和子邸の公開準備	・有吉佐和子邸で有吉佐和子氏の顕彰等に取り組む

2　事業コスト

事業費等（千円）		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		839	812	12,183	39,372	872	47,386	121,145	0	12,000	0
伸び率（%）		△61.3%	△53.1%	1,352.1%	4,748.8%	△92.8%	20.4%	13,792.8%	△100%	△90.1%	0%
人件費	正規職員	10,950	6,554	15,142	7,491	8,361	4,061	2,071	0	2,071	0
	正規職員以外	472	903	662	867	44	0	44	0	44	0
	小計	11,422	7,457	15,804	8,358	8,405	4,061	2,115	0	2,115	0
国庫支出金		250	248	5,927	16,690	249	18,918	57,773	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	5,300	20,500	0	26,400	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	2,068	63,107	0	0	0
一般財源（税等）		589	564	956	2,182	623	0	265	0	12,000	0
所要人数（人）	正規職員	1.37	0.82	1.88	0.93	1.05	0.51	0.26	0.00	0.26	0.00
	正規職員以外	0.19	0.38	0.29	0.38	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00
主な予算内訳		管外出張旅費 334千円、火災保険料　38千円、業務委託料　500千円 【令和元年度繰越分】工事請負費 49,696千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
活動指標	イベント開催数	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	0	0		
			達成度(%)	100%	0%	0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	参加者数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	115	0	0		
			達成度(%)	115%	0%	0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性 ＼ コスト投入の方向性	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				○
現状維持				
縮小				
廃止				

担当課評価の根拠	令和２年度に予定していた有吉佐和子氏に関するイベントは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、東京にある有吉佐和子氏の邸宅を本市に復元し、寄託を受けた資料の調査を行い、文化的風土を醸成する。
見直し・改善内容	効果的かつ効率的な顕彰手法を図る。